

第21回NCC-URM全国協議会のご案内

主の聖名を讃美致します。

第21回NCC-URM全国協議会を、下記のよう開催致します。

戦後70年余が経過しました。とりわけ、日本に住む私たちは、国家による他国に対する侵略と植民地化の歴史を顧み、誰であれ一人ひとりが何よりも大切にされる社会をめざす新しい歩みを始め、それを受け継いできました。その歩みの礎は、基本的人権、平和主義、主権在民を柱とする日本国憲法に宣明されています。

しかし、今、その柱を容赦なく切り倒して、一人ひとりよりも“国家”を優先し、日本を戦争のできる国に引き戻そうとする動きが顕著になっています。それは、国内外に広がりを見せる、いわゆる障がい者や、難民・移民、少数民族、性的少数者等のマイノリティに対する不寛容な態度や排除の行為と無関係ではないようです。

NCC-URM[都市農村宣教]委員会は、その前身NCC-UM[都市産業宣教]委員会の設置(1967年)後、来年ちょうど半世紀を迎えます。この節目を前に、人権と平和、そして憲法の危機の時代だからこそ、それを大切にしてきたURMの視点から、その現実への認識を深め広め合い、希望を分かち合って、発信したいと願います。今協議会への参加を心からお勧めします。

【開催要項】

主 題：「危機における教会の役割—憲法・平和・人権—」

日 時：2016年10月9日（日）～11日（火）

場 所：KCC（在日韓国基督教会館、大阪市生野区中川西2-6-10 TEL06-6731-6801）

主 催：日本キリスト教協議会都市農村宣教（NCC-URM）委員会

後 援：KUIM（関西キリスト教都市産業問題協議会）

参加費：¥15,000円（食事込、宿泊については各自手配する）

※KCCでの宿泊（相部屋）希望の方は1泊3000円です。別途申し込みください。

交通費補助：遠隔地からの参加者には、交通費の一部を補助します。

＜例＞ 広島：¥5,000 関東・九州地域：¥10,000 北海道・沖縄：¥20,000

締切日：2016年9月20日（FAX06-6718-0988でお申し込みください。部分参加可。）

＜プログラム＞

●10月9日（日）

16時 受付

17時 開会礼拝、オリエンテーション：原田光雄委員長

18時 夕食

19時 主題講演（公開講座・参加費／資料代1,000円）

　　テーマ：「憲法・平和・人権」

　　講師：高作正博（関西大学教授・憲法学）

●10月10日（月）

8時 朝食

9時 発題：マイノリティの人権(1)

①移住労働者：ビスカルド・篠子（カトリック大阪大司教区社会活動センター）

②貧困：大谷隆夫（関西労働者伝道委員会）

③セクシュアル マイノリティ：未定

11時 聖書研究（農の立場から聖書研究）池迫直人（農村伝道神学校）
12時 食事
13時30分 発題：マイノリティの人権(2)
④沖縄：又吉京子（沖縄基督教センター宜野湾セミナーハウス）
⑤アイヌ：Divan Suqluman（台湾長老教会・アイヌ民族情報センター）
⑥部落：東谷誠（日本基督教団部落解放センター運営委員長）
15時30分 Coffee break
16時 報告
①シールズ関西の目指したもの 大野至（元シールズ関西、関西学院大学神学部）
②“マイノリティと宣教”国際会議と“マイノリティー宣教センター”について
金迅野（在日大韓基督教会、マイノリティー宣教センター）
③九州の震災支援について：小泉基（予定、日本福音ルーテル健軍教会）
④韓国よりの報告：朴 ヨンラク（韓国 NCC 正義平和委員会局長）
18時 交流会

●10月11日(火)

8時 朝食
9時 全体討論（声明書検討）
11時30分 閉会礼拝
12時 解散

■主催：日本キリスト教協議会都市農村宣教（NCC-URM）委員会（委員長：原田光雄）

<http://ksyc.jp/ncc-urm/> e-mail hida@ksyc.jp

問い合わせ先：KCC (TEL06-6731-6801 FAX06-6718-0988)

< 申し込み用紙 FAX06-6718-0988 にお送りください >

全日程参加		どちらかに○	*****
部分参加		どちらかに○	*****
	10/9(月)	10/10(日)	10/11(火)
朝食	*****		
食事	*****		*****
夕食（10/10は交流会）			*****
主題講演		*****	*****
名前			
所属			
連絡先			